

第8回臨床試験とCRCに関する研修会

生涯教育研修課程：専門教科 40点

開催目的	医療の向上には質の高い臨床試験・臨床研究を実施する必要があり、そのためにはCRC（臨床研究コーディネーター）の活用が求められている。本研修は、臨床試験の意義とCRCの役割を理解し、医療の向上に努める人材を育成するために開催する。内容は日本臨床薬理学会の「CRCのための研修ガイドライン」に準じ、特に臨床検査技師が習得する機会の少ない項目を重視している。なお、本研修会は日本臨床薬理学会の指定するCRC研修会（10点）である。	
会期	平成22年3月20日（土）～22日（月・祝） 3日間	
会場	日本臨床検査技師会館 3階第1会議室 〒143-0016 東京都大田区大森北4-10-7 TEL 03-3768-4722	
内容	第1日目	<p>8:30～8:50 受付 (敬称略)</p> <p>8:50～9:00 開講式、オリエンテーション</p> <p>9:00～10:15 臨床試験の歴史、臨床試験と倫理性、利益相反 聖マリアンナ医科大学 薬理学教室 小林 真一</p> <p>10:30～12:00 非臨床試験から臨床試験への移行、試験計画法のポイント 昭和大学医学部 第二薬理学教室 安原 一</p> <p>12:00～13:10 昼休み</p> <p>13:10～14:40 GCP、新医薬品の承認審査制度 国際医療福祉大学大学院 大西 純一</p> <p>14:50～16:20 薬理作用・薬物動態と個人差、薬物相互作用、薬物有害反応 金沢大学附属病院 医療安全管理部 古川 裕之</p> <p>16:30～18:00 CRCの業務内容と役割 国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター 臨床研究推進室 森下 典子</p>
	第2日目	<p>9:00～10:30 臨床試験・治験に関与する者および体制 山口大学医学部附属病院 薬剤部 神谷 晃</p> <p>10:40～12:10 CRCの役割と医療コミュニケーション、被験者への恩恵と負担の軽減 国際医療福祉大学大学院・大分大学医学部創薬育薬医学 中野 重行</p> <p>12:10～13:10 昼休み</p> <p>13:10～18:00 ワークショップ「被験者への分かりやすい説明」 説明文書の内容とその表現の仕方（グループワーク） インフォームドコンセントのポイント（ロールプレイ） 全体ディスカッション 国際医療福祉大学大学院・大分大学医学部創薬育薬医学 中野 重行 国際医療福祉大学大学院 中原 綾子 北里大学東病院 治験管理センター 前田 実花 他</p>
	第3日目	<p>9:00～10:00 治験の実施プロセス 川崎市立多摩病院 柏熊留里子</p> <p>10:10～11:10 モニタリング・監査、信頼性の確保と調査 日本製薬工業協会（予定）</p> <p>11:20～12:20 有害事象発生時の対応（補償・賠償を含む） 聖隷浜松病院 臨床研究管理センター 鈴木千恵子</p> <p>12:20～13:20 昼休み</p> <p>13:20～14:50 トピックス（今後求められる医薬品、ドラッグラグ他） 株式会社ベルシステム24 河野 健一</p> <p>14:50～15:00 閉講式</p>

募集人員	50名
参加資格	社団法人 日本臨床衛生検査技師会 会員を優先しますが、定員に満たないときは非会員（職種は問いません）の方も参加可能です。
受講料	18,000円
申込締切	平成22年2月19日（金） 但し、定員に達した場合は先着順によりその時点で締切ります。
申込要領	別紙申込書に必要事項を記入のうえ、 <u>郵送</u> でお申し込みください。申込締切後、受講料請求書等をお送りします。
申込先	〒143-0016 東京都大田区大森北4-10-7 社団法人 日本臨床衛生検査技師会事務局 TEL 03-3768-4722
備考	受講者は、「CRCテキストブック第2版/医学書院刊」にて事前学習をしておいてください。
宿泊	各自で手配してください。
主催	社団法人 日本臨床衛生検査技師会